

令和7年度第3回 瑞穂町図書館協議会会議録

- 1 日 時 令和8年3月31日(火) 18:00～19:00
- 2 場 所 瑞穂町図書館2階 セミナールーム
- 3 出席者 会長 関谷 忠 副会長 高島 朝子
委員 笹井 鎮彦、関谷 初世、西澤 麻里
町 友野図書館長、西村図書係長、池和田主任
- 4 欠席者 石坂 隆文、吉田 周平、吉良 明美
- 5 議 題 (1) 図書館・地域図書室の運営状況について
(2) 第四次瑞穂町子ども読書活動推進計画について
(3) 令和8年度図書館事業について
(4) その他
- 6 傍聴者 なし
- 7 配布資料 次第、資料1～3
- 8 会議内容

開会

会長挨拶

議題(1) 図書館・地域図書室の運営状況について

(資料1-1、1-2)

関谷会長 事務局からの説明をお願いします。

事務局 瑞穂町の図書館、地域図書室の来館者数と貸出等利用者数の令和7年度と令和6年度の比較になります。

来館者数は、瑞穂町図書館、元狭山、長岡、武蔵野で、令和6年度より多くの方に来館していただきました。令和7年度は9月末に9日間臨時休館があり開館日数も延べ25日減りましたが、多くの方に利用していただきました。特に図書館や武蔵野では、宿題をする児童や学習利用する生徒や学生の姿増えた印象があります。

貸出等利用者数は、図書館と殿ヶ谷は減、それ以外は令和6年度より増えています。図書館の減少幅が大きく全体としても約500点減少しています。来館をいかに貸出につなげていくかが令和8年度の課題です。

次に12月以降の実施事業についてご説明します。

主催事業としては12月にクリスマス会を5会場で実施しました。1月に子ども

も向けデジタル体験「くりらぼ i n 瑞穂」を実施しました。図書館講座は2月オリジナルカバーのノート作り、3月29日に関谷会長を講師に、読書講演会を開催しました。子ども向けデジタル体験は東京都の協力で実施した事業です。多摩地域は子どもが自由にデジタル体験できる場が少ないため、町の子どもたちにとっても良い機会の創出につながりました。

共催事業としては図書館ファンクラブ「MIDORI」との共催で4周年記念事業、大瀧詠一さんを語る会との共催で瑞穂ナイアガラセミナーを4回開催しました。学校との連携では各校からの生活科見学の受入や職場体験、瑞穂農芸高校への出張授業を行いました。

関谷会長 このことについて意見がありましたらお願いします。

高島副会長 「過ごす」力を入れている。本のそばで過ごしてくれている嬉しさがある。武蔵野図書室に来る子どもたちは本に興味を持ってくれないので、過ごすことを目的にしてもいいのではと思いました。

関谷会長 地域図書館が健全にあるのがいい。他市でも多世代交流事業のために使っている。借りるだけではない居場所と住民の声が届いた。

高島副会長 『4周年大作戦』は親子の会話があるのが良かったと思いました。

議題（2）第四次瑞穂町子ども読書活動推進計画について

（資料2）

関谷会長 事務局からの説明をお願いします。

事務局 「第四次瑞穂町子ども読書活動推進計画（令和7年2月策定）」の進捗状況について、対象団体に調査を実施し、29団体中、29団体から回答がありました。なお調査の対象は学校や幼稚園・保育園、学童保育クラブ、ボランティア団体などとなっています。

Q1. 「図書館で団体貸出を利用したことはありますか」という問いに対し、団体貸出の利用については回答があった29団体中17団体、58.6%から利用していると回答がありました。令和5年度の調査では30団体中21団体、70%が利用しているとの回答でしたので、利用団体が4件減少しました。

Q2. 「第四次瑞穂町子ども読書活動推進計画を知っていましたか」という問いに対し、29団体中22団体、75.9%が知っているという回答でした。

令和5年度の調査では30団体中25団体、83.4%が知っているという回答でした。令和7年度は四次計画の初年度だったので、改めて計画の周知や理解を浸透させる手法について検討が必要であると考えます。

Q3. 「第四次瑞穂町子ども読書活動推進計画において期待される取組に対す

る評価」については、「A 大変よくできた」「B よくできた」「C ふつう」を合わせて約90.1%となりました。内訳としては、Aが39.1%、Bが32.6%、Cが18.4%で、いずれも前回調査と同じか上回りました。一方、「D できなかった」「E 全然できなかった」は、合わせて11.3%ありましたが、令和5年度の13.4%と比較して2.1ポイント減っています。第四次計画は第三次計画と取組内容を一部変更しているため単純比較はできませんが、いずれの団体も積極的に取組を進めていただいていることが伺える結果となりました。

Q3に対する具体的な取組はQ4に記載しています。【学校】についての8つの求められる取組と、その回答を掲載しています。

4ページの「②司書教諭と学校図書館司書を中心に、各担任と連携を図り、学校の特性を生かした活動を推進していきます。」の具体的な取組として、ビブリオバトルやPOP作成、並行読書などの取組を行っており各校の創意工夫が伝わってきます。

第一次計画から第三次計画までは報告していませんでしたが、第四次計画になったことを機に、図書館の取組を掲載しています。

「⑤子どもの視点を取り入れた事業を企画します。」は第四次計画から追加された項目です。子どもを対象としたイベント実施のほか、図書館ファンクラブメンバーの高校生の視点を取り入れたり、町が協定を締結している駿河台大学の学生と協働したりしたイベントが開催できました。

学校以外の団体の取組がまとまっていますので、ご確認ください。

Q5それ以外の取り組みについての回答をまとめました。

Q6「読書以外での子どもとの関わり」についての回答をまとめました。

学校では、(最下段)「誰もが安心して気軽に立ち寄れる、心地よいスペースを提供したいと心掛けている。」といった回答があり、児童、生徒の居場所としての機能を果たしていることが分かります。

「図書館への意見・要望」が記載されています。実施していることへの評価や、要望が寄せられ特に要望については、今後の課題として受け止め、何らかの形で実現できないか、研究してまいります。

関谷会長
笹井委員

このことについてご意見がありましたらお願いします。

「図書館の意見・要望」のなかにある予約システムについてですが、小学校でタブレットを使えるのであれば切り分ける必要はないのでは？低学年からも使えるように検討したほうが良いと思いました。

- 関谷委員 中学生ならばもっと利用できそうですし、利用率も良いと思います。
- 高島副会長 使いこなせるものがあるので本の世界に入っていってほしいです。本のいい言葉にたどりつく子が増えると良いと思います。
- 関谷会長 学校図書館司書の方が頑張って新聞など作って盛り上げていますし、図書館との連携もうまく取れています。
- 笹井委員 司書教諭と学校図書館司書の立場や役割が良く分からないのですが。
- 関谷委員 この意見はよくあります。学校図書館司書がしっかりしていると思います。司書教諭と学校図書館司書が協力できるともっと良くなると思います。

議題（3）令和8年度図書館事業について

（資料3）

- 関谷会長 事務局からの説明をお願いします。
- 事務局 曜日が赤色になっているところが休館日です。例年同様、毎週月曜日と毎月第3金曜日の館内整理日が定例的な休館日となります。
- 5月2日、3日に図書館ファンクラブと協働した謎解きイベントを実施します。6月に蔵書点検で約1週間、図書館と地域図書室を休館して棚卸しを行います。調べる学習コンクール関連では9月に作品募集を行い、10月に審査、11月に表彰式を行う予定です。
- また、本・雑誌の無料配布やクリスマス会も例年どおり実施する予定です。図書館講座は年2回を予定しています。時期や内容についてはこれからになりますが、子ども向けのワークショップや大人向けの講座など、幅広い中で検討していきますので、ふさわしい講師をご存知の方がいらっしゃいましたら事務局までご連絡ください。
- 図書館協議会は年4回程度開催予定です。
- このほか、おはなしの会や読書会も引き続き実施する予定です。
- 関谷会長 このことについて意見がありましたらお願いします。
- 高島副会長 ワークショップで考えている絵本の配架は、楽しいと思います。絵作者だと探せないと思います。期待しています。

議題（4）その他

- 関谷会長 事務局から何かございますか。
- 事務局 2点報告します。
- 図書館を使った調べる学習コンクール入選についてです。既に広報3月号に掲載していますが、公益財団法人図書館振興財団が主催する全国の図書館を使った調べる学習コンクールで、応募総数12万作品以上の中から、瑞穂町では優

良賞1作品、奨励賞2作品、佳作2作品が入選しました。

2点目は、4月1日の人事異動で館長の友野が異動することになりましたので、ご挨拶させていただきます。

友野館長（挨拶）

閉会

高島副会長